

名城大学機械会誌

発行所

名古屋市天白区塩釜口1丁目501番地
名城大学理工学部機械工学科内
名城大学機械会
TEL (052) 832 - 1151 (代)
FAX (052) 832 - 1235
URL: <https://meijo-kikaikai.jp/>



名城大学機械会 第69回総会のご案内

下記のように第69回総会を開催します。
会員諸氏の多数のご出席を心よりお待ちしております。

名城大学機械会 会長 大野 達也

- 日時** 令和8年6月14日(日) 9:00～9:50
- 場所** 名城大学天白キャンパス 共通講義棟南館 S402教室
- 次第** 司会者、開会の辞、会長と学科長の挨拶
議長団選出(議長・副議長・書記・議事録署名者)
議事 ・令和7年度事業報告
・令和7年度会計報告及び監査報告
・令和8年度事業計画案
・令和8年度予算案
・その他

機械会総会に続き理工同窓会総会が開催されます。

- ☆記念講演・・・10:30～11:50 共通講義棟北館 N101 (名城ホール)
講演タイトル 『物質・材料研究の科学技術イノベーションに向けて』
講師 名城大学理工学研究科 教授
物質・材料研究機構 特別名誉研究員/名誉理事
小出 康夫 氏
☆理工同窓会総会・・・11:55～12:45 共通講義棟北館 N101 (名城ホール)
☆懇親会・・・13:00～ タワー75 15階レセプションホール



名城大学正門アプローチ 令和8年3月撮影

令和8年に向けての思い

名城大学 機械会 会長 大野 達也
昭和58年卒



機械会会員の皆さま方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、機械会の活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

まずもって、名城大学開学100周年おめでとうございます。大学も次の100年に向けてスタートを切りました。機械会としてもこれから先、永続的発展を目指した活動をしていきます。

令和7年の活動においては、会員各位への会報の発行、機械会ゴルフ大会を実施してまいりましたが、機械会会員との情報交換の企画を開催する機会を持つことが出来ませんでした。また、機械工学科在学生行事のスポーツ大会（バレーボール大会）への支援を行ってまいりました。但し、令和7年度卒業パーティーは昨年に続き開催されなかったこともあり卒業パ-

ティーへの支援は未実施となりました。

令和8年では、会員の皆様に対し、機械会ゴルフ大会を年2回開催、情報交流会など行い親睦を図るとともに会員各位の意見を伺い今後の活動に反映して行きたいと思っております。今年は機械会会員と在学生に対し交流会も計画しています。また、在学生に対してはスポーツ大会への支援を行いOB会のPRを行うと共に機械工学科学科長と相談し卒業生に対しても在学生に対してもより一層充実した支援が出来るよう内容の検討も行う予定です。

自分たちの学び舎だった天白2号館、3号館はすでに取り壊され、新たにライオンズアリーナとして生まれ変わりました。大学もどんどん変わってきています。今一度、大学（天白キャンパス）にお足を運び頂き変化した大学を見てもらいたいと思っております。

■■■■■ 機械会からの重要なお知らせ ■■■■■

「名城大学機械会誌」の送付について

機械会では、毎年発行している会誌を平成28年度より、機械会ホームページにて印刷出力可能な様式で公開しております。

卒業後、3年間は住所が校友会の名簿に登録されている方全員に会誌を送付しています。卒業後4年目以降は会誌送付の継続をご希望される方だけに送付しています。会誌送付を希望される方は直接機械会事務局または、機械会ホームページの『問い合わせページ』から、「機械会誌の送付」と記入のうえ、お申し込みください。

機械会ホームページ <https://meijo-kikaikai.jp/>



機械工学科の近況

機械工学科

学科長 清水 憲一

昨年度に引き続き令和 8 年度学科長を務めることになりました清水です。日頃より、機械会の皆様には温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様もご存じのように、名城大学は今年開学 100 周年を迎えます。その目玉として旧 2 号館、3 号館跡地に建設が進んでいた新体育館「ライオンズアリーナ」が三月に完成し、今年の卒業式、入学式はライオンズアリーナで執り行われました。また、大学あるいは理工学部として百周年を祝うイベントも今後開催される予定です。是非、この機会に新しくなった名城大学を見にお越しください。

現在、機械工学科の教員は、教授 11 名、准教授 4 名の計 15 名です。今年は 142 名の学生が卒業し、新たに機械会会員となりました。そして、新入生として 113 名が入学し、4 月 18 日と 19 日にはフレッシュマンセミナーが実施され、入学間もない新一年生が親交を深める良い機会となりました。また昨年 9 月には「第 53 回名城大学機械会杯争奪スポーツ大会」が開催され、令和 6 年度に引き続きバスケットボール大会が行われました。機械会からは、副会長の鈴木様に出席いただき、学科からも多くの教員が選手として参加しました。

一方、コロナ禍で中断していた卒業記念パーティーですが、残念ながら今回も実施は見送りとなりました。昨今の物価上昇による参加費の値上がりによって、学生が参加しづらい状況になっていることも原因の一つですが、高校、大学の時期にコロナを体験した若い世代が、このようなイベントを敬遠する傾向が強まっているように思われ、かつての大学生活を知る我々古い

世代としては、一抹の寂しさを感じます。

さて、昨今の機械分野における話題としては、これまで EV 一辺倒だった自動車産業において、内燃機関への揺り戻しが強まってきたことが挙げられると思います。このような社会情勢の変化を敏感に感じとってか、昨年度の入試で、機械工学科の受験者数が増えた上にレベルもこれまでより高くなったと感じられます。受験者の高校名を見ると、今までほとんどいなかったような高レベルの高校の名前がちらほら見られ、少子化にもかかわらず、本学の機械工学科はむしろその存在感を増しているように思われます。

もちろん大学は、このような社会情勢の変化の左右されない真に能力を持った学生を育てることが必要であり、その一つが、国際的な感覚を身に着けた学生の育成です。コロナ前の 2019 年までは、国際研修プログラムとして、毎年数名の在学生在が、アメリカのカリフォルニア大学を訪問して一週間程度滞在し、現地の大学の学生・教員と国際交流を行ってきました。ところが、2020 年以降はコロナ禍によって、このプログラム自体が中止となっていましたが、昨年度ようやく復活し、三月にアブラハ教授と在校生 4 名が参加して実施されました。中止期間中に、受け入れ先の教員がカリフォルニア大学からオランダのデルフト工科大学に異動になったので、渡航先も変わり、今後は研修内容も新しいものに改良していく予定です。

今後とも機械会の皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



アムステルダム国立美術館前にて



デルフト工科大学での研究交流の様子

2025年度の就職状況

機械工学科 就職・進路支援委員

成田 浩久

2025年度(2026年卒)の就職活動は前年度よりもさらに選考(内々定)が早まり、求人数も多くなりました。夏やその後の長期インターンシップ等への参加者に早期選考の案内があり、かなり早い時期に内々定を頂いた学生がいました。特に大学院生の早期選考が顕著でした。また学部については、学校推薦の時期が成績確定後となるため、内々定者に後付推薦を求める企業が多くなっています。これは学生の囲い込みを意図しているものも多く、学校推薦の形骸化が進む恐れが出ております。

大学に面談に訪れる企業様は主に中小規模の担当者の方で、「名城大学機械工学科の学生を採用したい」と多くの求人いただきました。幅広い業界から機械工学技術者が求められており、本学科が人材養成機関として社会的にも期待されていると言えます。社会的に高い評価を頂けているのも、本学科卒業生である皆様のご活躍の賜物であり、学科を代表してここに感謝申し上げます。

2025年度の就職希望者の内定率は引き続き、大学院、学部ともに100%、就職希望者全員の進路が決定いたしました。就職先は大部分が製造業で、自動車関連業種、工作機械メーカー等への就職が目立っております。また学部から大学院への進学者は42名(昨年度36名)で、例年の進学率(20~30%)と同程度となりました。ただし、成績優秀者ほど研究室に配属される前に就職を決める状況が続いています。学科としては、より多くの学生が大学院に進学し、高度な学問を身につけた技術者として社会で活躍することを強く期待しております。

今後も社会から必要とされる機械技術者たる人材を輩出することが本学科の責務と捉え、教員一同、努力を続けていきます。機械会の皆様におかれましては今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご参考までに、就職先企業一覧を掲載いたします。

「大学院」

豊田合成株式会社、トヨタ自動車株式会社(5)、株式会社デンソー、CKD株式会社、ブラザー工業株式会社、株式会社アイシン(4)、中部電力ミライズ株式会社、株式会社FUJI、三菱電機株式会社、イビデン株式会社、

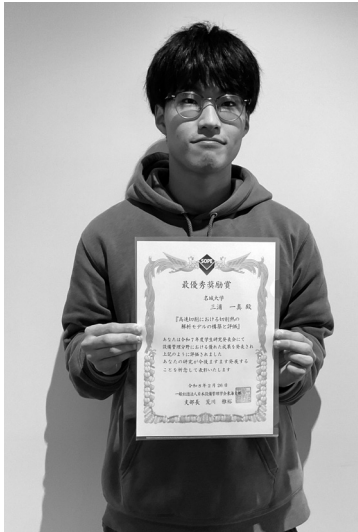
株式会社豊田自動織機、株式会社東京精密、リンナイ株式会社(2)、株式会社ジェイテクト、トヨタ車体株式会社、ダイサン株式会社、旭サナック株式会社、マツダ株式会社、ヤマザキマザック株式会社、ブラザー工業株式会社、名城大学大学院博士後期課程

「学部」

AKKODiSコンサルティング株式会社、CKD株式会社、KTX株式会社、Sky株式会社、UBE三菱セメント、アイシン高丘株式会社、アイホン株式会社、オークマ株式会社(3)、イビデン株式会社、シミズ工業株式会社、スマートインプリメント株式会社、ダイハツ工業株式会社、デンソーテクノ株式会社、トヨタ車体株式会社(3)、トヨタバッテリー株式会社、トヨタ紡織株式会社、パーソルクロステクノロジー株式会社、フィリピン セブ島 SMEAG Capital、ヤマザキマザック株式会社、ホシザキ株式会社、リンナイ株式会社、愛三工業株式会社、愛知機械工業株式会社、愛知時計電機株式会社、愛知精工株式会社、旭サナック株式会社、株式会社NTTデータ・ニューソン、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、株式会社アドヴィックス(7)、株式会社アイシン(4)、株式会社アルプス技研、株式会社シーアールイー、株式会社シーテック、株式会社ジェイテクト、株式会社デンソーエレクトロニクス、株式会社デンソー、株式会社トヨタシステムズ、株式会社マキタ(4)、株式会社ワールドインテック、株式会社メイテック(2)、株式会社協豊製作所、株式会社ワダエンジニアリング、株式会社日立ハイテク、株式会社東海理化電機製作所(3)、株式会社竜製作所、株式会社豊田自動織機、高浜工業株式会社、近畿日本鉄道株式会社(2)、鬼頭工業株式会社、極東開発工業株式会社、三菱自動車工業株式会社(2)、三菱重工業株式会社、三菱電機エンジニアリング株式会社、三菱電機ビルソリューションズ株式会社、住友理工株式会社(2)、住友電装株式会社、小松開発工業株式会社、村田機械株式会社、大同マシナリー株式会社、太平洋精工株式会社、豊田合成株式会社(5)、日研トータルソーシング株式会社、北川工業株式会社、矢崎総業株式会社、林テレンプ株式会社(3)、名城大学大学院(38)、名古屋大学大学院(2)、名古屋工業大学大学院(2)

トピックス

理工学部機械工学科の三浦一真さんが日本設備管理学会東海支部学生研究発表会で最優秀奨励賞を受賞



受賞者 三浦 一真さん（理工学部機械工学科）

受賞名 一般社団法人日本設備管理学会東海支部令和7年度学生研究発表会 最優秀奨励賞

受賞日 2026年2月26日

受賞テーマ

高速切削における切削熱の解析モデルの構築と評価

本研究では、高速切削時の熱挙動を予測するために、二次元切削におけるせん断面、すくい面、逃げ面の3箇所が発生する熱の理論モデルを構築しました。せん断面に対してはJeagerの移動熱源理論を適用し、すくい面及び逃げ面についてはKelvinの固定熱源理論を用いて各部における温度上昇及び発生熱量を算出しています。その結果、従来の研究報告と同じように、切削速度の増加により熱の切屑へ移動する割合が増えること、高速切削条件下において切り込みが最も支配的因子であること、切削速度の増加は全体の発生熱量を増加させるが、発熱箇所の発熱割合はほぼ一定であることを解析しました。

大槻敦己名誉教授（元理工学部機械工学科）が日本ばね学会秋季講演会で日本ばね学会賞（技術賞）を受賞



受賞者 大槻 敦己 名誉教授（元理工学部機械工学科）

受賞名 2025年度日本ばね学会賞（技術賞）（2025年度日本ばね学会秋季講演会）

受賞日 2025年11月6日

受賞テーマ

変更ジグザグばね(Sばね)の性能改善とその変形解析

—非線形理論に基づく大変形理論解析—（日本ばね学会論文集 第70号、2025）

日本ばね学会は、ばねを始めとした復元力を有する材料の総合的な学術研究学会であり、同学会賞は復元力を有する材料の性状・変形の解析やその発展に対して学術的、工業的に顕著な貢献をした研究者に授与されるものです。本論文は、従来のジグザグばね(Sばね)の形態を画期的に改変した形状を考案するとともに、新ばねの大変形特性について非線形理論を応用して理論的に明らかにしたものであり、こうした研究成果（技術的貢献）が高く評価され、このたびの受賞につながりました。なお、大槻名誉教授は、同学会からたびたび学会賞（2000、2011年度論文賞、2016、2019年度技術賞、2016年度功績賞、2017年度 学会70周年記念特別功績賞など）を受けられており、今回で通算7度目の受賞となります。

「機械会情報交流会」の開催について

機械会情報交流会の開催を検討しています。

詳細が決定しましたら機械会ホームページの行事予定のページでお知らせいたします。

開催日：2026年10月または11月（未定） 場所：名城大学天白キャンパス タワー75

機械会ホームページ <https://meijo-kikaikai.jp/>



名城大学開学100周年記念

名城大学開学100周年記念寄付金目録贈呈式

日時：2026（令和8）年2月8日（日）

場所：ホテル名古屋ガーデンパレス

今年、名城大学は開学100周年を迎えます。開学100周年を迎えるにあたり、記念事業の趣旨に賛同し、機械会として100万円を寄付するという事で令和8年2月8日に校友会賀詞交換会が行われたホテル名古屋ガーデンパレスにて名城大学小原理事長に100万円の寄付金の目録を贈呈いたしました。



寄付金贈呈式に出席された方々の写真
小原理事長（右から4人目）

機械会支援行事

第53回名城大学機械会名城大学機械会杯争奪スポーツ大会（バレーボール）

日時：令和7年9月3日（水）

場所：名城大学新体育館

順位：優勝 古川研究室、準優勝 松原研究室、3位 成田研究室、4位 来海研究室



第 19 回機械会賞受賞のことば

横田研究室
ぼんぼ そのほ
番場 園巴



この度は、機械会賞という荣誉ある賞を賜りましたこと、大変光栄に存じます。機械工学科に入学して以来、将来社会に貢献できる人材となることを目標に、日々学業に取り組んでまいりました。これまでの努力をこのような形で評価していただけたことを、大変嬉しく感じております。

入学以来、様々な講義や実習を受けてきましたが、中でも印象深いのは3年次の設計・製作です。グループで一台の装置を設計から製作まで一貫して手がけていく中で、図面通りにはいかないものづくりの難しさを肌で感じる機会となりました。仲間と設計・試作を繰り返しながら課題を一つずつクリアしていく過程は、私にとって大きな経験となり、全員で完成を喜び合った瞬間の達成感は今も心に残っています。

また、4年次の卒業研究では、筋骨格モデルや短下肢装具に関する研究に取り組み、シミュレーションを通じて力学的な挙動の解析を行いました。研究を進める中で、思うように結果が得られず試行錯誤の連続でしたが、指導教員の横田先生や研究室の先輩方からの助言を受けながら課題解決に取り組むことで、問題に粘り強く向き合う姿勢を身につけることができました。また、卒業発表や学会発表を通じ、自身の考えを論理的に整理して相手に分かりやすく伝えることの重要性を実感し、限られた時間の中で研究の要点を的確に伝えるための発表構成や資料の工夫にも注力いたしました。

今回このような賞を頂くことができましたのも、ご指導いただいた横田先生をはじめ、熱意を持って講義をしていただいた機械工学科の先生方、研究を支えてくださった先輩方、共に切磋琢磨した友人たち、そして何より生活面を支えてくれた家族など多くの方のご支援の賜物であると深く感じております。この場をお借りして、皆様へ心より感謝申し上げます。大学院進学後も慢心せず、勉学および研究により一層励む所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。大学院修了後は、これまで培った知識と経験をさらに発展させ、社会に貢献できる技術者となるべく精進してまいります。最後に、名城大学機械会の今後の益々のご発展を心よりお祈り申し上げて受賞の挨拶とさせていただきます。

機械会賞の第 14 回から 18 回の受賞者

第 14 回 令和 2 年度		第 17 回 令和 5 年度	
氏 名	所属研究室	氏 名	所属研究室
神谷 友彰	清水研究室	清水 康喜	中西研究室
第 15 回 令和 3 年度		第 18 回 令和 6 年度	
氏 名	所属研究室	氏 名	所属研究室
天弘 篤秀	アブラハ研究室	水野 智貴	池本研究室
第 16 回 令和 4 年度			
氏 名	所属研究室		
大藏 芳斗	中西研究室		

令和7年度 名城大学機械会事業報告（案）

令和7年度の事業経過は以下の通りです。

1. 令和7年度第68回総会
 - ・日時：令和7年6月15日（日）9：00～
 - ・会場：名城大学共通講義棟南館 S402 講義室
2. 評議員会・役員会
 - ・第1回評議員会 令和7年4月26日（土）
3. 名城大学機械会誌第59号を発行し、機械会ホームページに掲載
あわせて、正会員の送付希望者および準会員（在校生）へ配布
4. 名城大学開学百周年を祝い金百万円を寄付
令和8年2月8日（日）小原理事長へ大野会長より目録贈呈
5. 第53回名城大学機械会杯争奪スポーツ大会(バレーボール)
開催日：令和7年9月3日（水）
 - ・支援金の支給
 - ・開会式（鈴木副会長）・閉会式（森澤副会長）参加
6. 令和7年度機械会賞を横田研究室・番場 園巴さんへ授与
（機械会特別賞については応募者なし）
7. 機械会杯ゴルフ大会の開催
 - ・第17回
開催日：令和7年4月12日（土）
参加数：18名
優勝の森澤 厚 氏（昭和45年卒）に機械会杯が授与された。
 - ・第18回
開催日：令和7年10月3日（金）
参加数：18名
優勝の近藤和正氏（平成7年卒）に機械会杯が授与された。
※コースはいずれもトーシンさくらヒルズゴルフクラブ
8. 理工同窓会および各学科同窓会主催行事への参加
 - ・令和7年11月6日（木）理工学部学部長・学科長との情報交換会
 - ・令和8年2月8日（日）校友会 令和8年賀詞交歓会
 - ・令和8年2月22日（日）環境会 令和8年関心会
 - ・令和8年3月12日（木）緑風会主催の退職職員記念パーティー
 なお、計画では上記事業の他、令和7年度事業計画案として下記事業も計画しておりましたが、諸事情により中止いたしましたことをご報告致します。
※中止となった事業計画
 1. 機械会会員交流会
 2. 令和7年度卒業生への記念品贈呈
（学生諸君の意向により、卒業記念パーティーの開催はなし）
 3. 機械工学科教員と機械会役員との懇談会
 4. 各研究室のゼミ長と機械会役員との懇談会
 5. 機械工学科への支援

令和8年度 名城大学機械会事業計画（案）

本会会則に掲げる本会の目的達成に必要な事業を行うほか、本年度は特に次の事業を中心として活動する。

1. 令和8年度第69回総会
 - ・日時：令和8年6月14日（日）9：00～
 - ・会場：名城大学共通講義棟南館 S402 講義室
2. 評議員会・役員会
3. 名城大学機械会誌第60号を発行し、機械会ホームページに掲載
あわせて、正会員の送付希望者および準会員（在校生）へ配布
4. 機械会員交流会
5. 第54回名城大学機械会杯争奪スポーツ大会への援助
6. 令和8年度卒業生へ記念品贈呈等
7. 機械工学科教員と機械会役員との懇談会
8. 機械工学科卒業生への機械会賞及び機械会特別賞の贈呈
9. 機械会杯ゴルフ大会の開催（本年度 春・秋 2回開催）
 - 第19回：開催日：令和8年4月11日（土）
伊深の森カントリークラブ
 - 第20回：開催日：令和8年10月2日（金）
岐阜セントフィールドカントリー倶楽部
10. 機械工学科への支援
11. 各同窓会主催行事への参加
12. その他、本会の目的達成に必要と認められる行事

令和7年度 名城大学機械会 会計報告(案)

貸借対照表

(令和8年3月31日 現在) [単位:円 消費税込み]

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	0	運営資金積立引当金	11,000,000
ゆうちょ銀行普通預金	1,862,779	「機械会賞」基金引当金	1,960,000
ゆうちょ銀行定期預金	13,000,000	70周年記念積立引当金	1,200,000
		剰余金	702,779
合 計	14,862,779	合 計	14,862,779

収支計算書

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日) [単位:円 消費税込み]

科 目	予 算	決 算	備 考	
収入の部	前年度繰越金	61,350	61,350	
	新入会員会費	1,430,000	1,420,000	令和7年度卒業生 142名分
	理工同窓会援助金	268,000	268,000	助成金
	繰入金	1,170,131	1,170,131	* 運営資金積立引当金及び「機械会賞」基金引当金より繰入れ
	雑収入	0	0	
合 計	2,929,481	2,919,481		
支出の部	会誌発行費	500,000	409,464	第59号印刷代等
	行事費	700,000	245,359	学内行事援助金等
	会議費	100,000	15,000	役員会(2回)
	事務費	20,000	990	振込手数料等
	『機械会賞』表彰金	20,000	10,000	
	HP/ウェブサイトメンテ費	135,000	135,889	HP/ウェブサイトメンテナンス保守費用
	70周年記念積立金	400,000	400,000	
	開学100周年記念寄付	1,000,000	1,000,000	
	予備費	54,481	0	
	計	2,929,481	2,216,702	
剰余金	0	702,779		
合 計	2,929,481	2,919,481		

剰余金処分案
本年度剰余金

702,779 円は次年度繰越金として処分するものとする。

会計監査報告

種々調査の結果、収支ともに相違なきことを証明します。

会計監査 中村 達郎 ㊞

令和8年度 名城大学機械会 予算(案)

(自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日) [単位:円 消費税込み]

科 目	予 算	備 考	
収入の部	前年度繰越金	702,779	
	新入会員会費	1,340,000	134名[令和8年度卒業予定者]
	理工同窓会援助金	268,000	下部組織助成金
	繰入れ金	20,000	内訳:「機械会賞」基金引当金より 20,000 円
	雑収入	0	寄付, 利息等
合 計	2,330,779		
支出の部	会誌発行費	500,000	第60号印刷, 機械会封筒代, 郵送代
	行事費	1,000,000	学生行事援助等
	会議費	100,000	評議員会, 役員会, 編集会議, 各種委員会等
	事務費	20,000	事務用品, はがき, 郵送費等
	『機械会賞』表彰金	20,000	「機械会賞」として表彰された卒業生への表彰金(10,000円/名)
	HP/ウェブサイトメンテ費	135,000	HP/ウェブサイトメンテナンス保守費用
	70周年記念積立金	400,000	* 設立70周年記念事業のための積立て引当金
	予備費	155,779	
合 計	2,330,779		

第20回機械会杯ゴルフ大会開催のご案内

拝啓 会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
 さて、機械会会員相互の交流を図ることを目的に、「名城大学機械会ゴルフ大会」を
 下記の要領にて開催いたします。

記

- 1 日 時 令和8年10月2日(金) 8時00分までにパター練習場付近に集合
 記念写真撮影・連絡事項 8時30分からアウト・イン同時スタート予定
- 2 場 所 岐阜セントフィールドカントリー倶楽部
- 3 住 所 岐阜県関市神野宇宮後3496 TEL 0575-29-0888
- 4 会 費 プレー代 9,000円前後予定(個人精算)
 (昼食+3ドリンク付・パーティ:1ドリンク予定)
- 5 競技方法 ダブルペリア方式:打数制限(ダブルパーまで) HC上限36
 使用ティ: 70歳以上と一般 別ティを使用
 ニアピン: 各ショートホール ドラコン: 2ホール
 6インチプレス・カップインは必ず実施すること。OKパットはなし。
- 6 賞 品 機械会からの支援金があります。
- 7 参加人数 6組(24名)
- 8 申し込み メール又はFAXにてエントリー願います。
- 9 締め切り 定員になり次第、締め切りします。

担当: 横幕



第19回機械会杯ゴルフ大会 参加のみなさん 2026年4月11日

宛先 名城大学機械会 FAX 052-400-2190

機械会 ゴルフ大会 参加エントリーします。

	お名前	連絡先(住所)	卒業年度
		電話番号(携帯)・FAX	生年月日

申込締切日: 令和8年7月31日。予定を組み入れ、早めの予約をお願いします。

【問合わせ先】 Tel 052-408-1529 Fax: 052-400-2190 【機械会: 横幕 勝治(S62)】

: E-mail: < yokomaku@howa.co.jp >